

将来の自分と向き合う立志式

～未来に響け誓いのことば～

教科・領域 総合的な学習の時間

長門市立三隅中学校 2 学年

キャリア教育の観点

中堅学年にあたる 2 年生が、日本で古くから行われていた「元服」にあたる儀式を行い、一人の人として『志』を立て、人生の指針と強い意志を表明し、前向きに自己の将来を設計しようとする力を培う式です。3 年生で、自己理解を深め、自らの意思と責任においてよりよい選択ができる生徒の育成へとつなげるキャリア発達の上から、重要な取組です。

【課題対応能力】【キャリアプランニング能力】

平成 25 年度キャリア教育		長門市立三隅中学校	
3 年間を通したキャリア教育の流れ (進路指導領域図～キャリア教育の視点から)			
キャリア教育で育成すべき能力 「基礎的・汎用的能力」			
人間関係形成・社会形成能力 A	自己理解・自己管理能力 B	課題対応能力 C	キャリアプランニング能力 D
他者理解, 意見を聴く, 考えを伝える, 自分の状況受け止め, 役割を果たし協力協働社会参画, 今後の社会形成	社会との相互関係保ち, 自分自身の肯定的理解, 自らの思考・感情を律する, 進んで学ぼう	課題発見・分析, 適切な計画を立てる, 課題処理・解決	「働くこと」意義理解, 情報の取捨選択活用, 自らキャリア形成
特別活動	道徳	総合的な学習の時間	
1 年 進路への関心高揚と自己理解の推進			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校生活への見直し A B <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の組織と自分の役割 ・ 学級作り ○ 目標をもって学ぶ D <ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことの意義 ・ 学ぶことの意義 ○ 働くことについて知る D <ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことに学ぶ ・ 職業調べ ○ 集団の中で自分を生かす A B <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活を豊かにする ・ 自分を知る、友だちを知る ○ 将来の生き方と進路計画 C D <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路計画 ○ 鍛錬遠足 B 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路への関心高揚と自己理解の推進 ○ 集団の中での自分の役割と責任の自覚 A B ○ 集団生活向上についての話し合い A ○ 先人の生き方への共感 D 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊体験学習 A B (集団生活のあり方) ○ 職場訪問学習 B C D (三隅地区の職場…農業) <ul style="list-style-type: none"> ・ 働くこと、仕事の意義 ・ 資格や適性 ・ 三隅地区の良さ ・ 将来に向けて ・ 発表会 	
2 年 進路情報の活用と自己啓発の推進			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分を伸ばす学年に A B <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級づくり ・ 自分らしく生きる ○ 働くことと学ぶこと D <ul style="list-style-type: none"> ・ 働く意味、学ぶ意味 ・ 学習計画 ○ 職業について学ぶ D <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業の世界、職業と産業、出会った職業 ○ 自分について考える B <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の適性 ・ 社会の一員として ○ 進路計画を立てる D <ul style="list-style-type: none"> ・ 学ぶための制度と機会 ・ 適性を生かした進路 ・ 進路計画の吟味 ○ 委員会活動 A ○ 鍛錬遠足 B 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法やきまりについての話し合い B ○ 権利・義務の正しい理解 B ○ 奉仕の精神について A 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会見学 D ○ 進路学習会 D ○ 職場体験学習 C D <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業調べ ・ 職場の確認 ・ 計画、準備 ・ 職業体験、取材 ・ 振り返り ・ まとめ (職場体験新聞作成) ○ 親の背中に学ぶ C D <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業体験、取材 ・ まとめ (作文: 冊子) ○ 立志式 C D 	
3 年 進路適性の吟味と適切な進路選択			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 最終学年のスタート A <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年間の見直し ・ 充実した学校生活 ○ 希望する進路をめざして B C D <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習プラン ・ 自分を見つめ直す ・ 進路希望先の調査 ○ 学習活動のまとめ A B C D ○ 進路の選択に向けて B C <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分に合った進路先 ・ 学習の問題点や悩み ○ 社会の一員として A ○ 進路の決定と旅立ち D <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路の最終決定 ・ 自分の道を切り開こう ・ 中学生時代のまとめ ○ 委員会活動 A ○ 進路学習会 C D ○ 鍛錬遠足 B ○ 体験入学・学校、進路先調べ C D 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 働く意義の理解 D ○ 社会参加について考える A B ○ 悩みの解決 B C 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行 A B C D <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ追求学習 ・ 報告書 ・ 発表会 (ポスターセッション) ・ まとめ (個人レポート) 	

立志式を支える取組

(1) 「夢を育む体験学習」

- ・夏季休業中に3日間、三隅地区や旧長門地区で行う職場体験学習

実際に仕事をしている人と接し、自分自身も体験することで、働くことの意義や目的の理解、進んで働こうとする意欲や態度などを育むことができ、自己有用感を体得し、夢や希望を実現しようとする意欲的な態度や、望ましい勤労観、職業観を育むまたとない機会である。また、そこで働いている人との触れ合いや交流を通して、異世代とのコミュニケーション能力を高めるとともに、社会人としての基本的マナーや言葉遣いなどの大切さを学習することができる。

- ・夏季休業中に行う「親の背中に学ぶ」

保護者が働く場所または、親戚の事業書で取材や職場体験を実施する。保護者にとっても子どもたちの働く姿は、その新たな側面を発見することにつながる。また働くということを通して、子どもと会話をする機会ができる。子どもは保護者との会話を通し、働くことの尊さや家族への感謝の気持ちを持ち、家族の一員としての役割を自覚する機会となる。

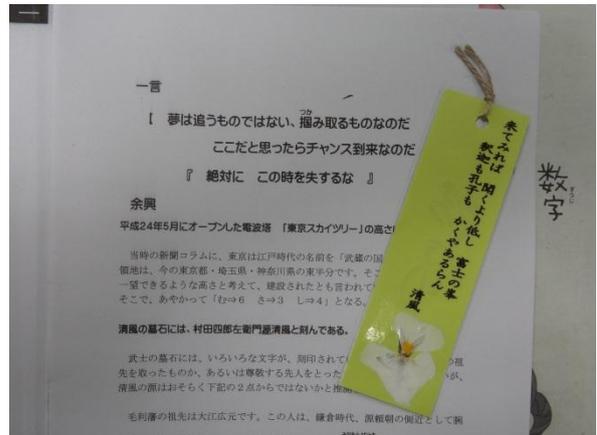
- ・文集づくり

「職場体験や親の背中に学ぶ」学習の振り返りとして、一人ひとりの活動を整理し文集にまとめた。振り返ることで客観的に働くことの意義や目的を確認することができるとともに、友だちの学びや多くの職場の様子を得ることができ労働観や職業観を広げることができる。

(2) 「地域の先賢から学ぶ」

- ・村田清風記念館館長の講話より

三隅地区には、偉大な業績を残した三賢人(村田清風、中原籐、香月泰男)の存在がある。中でも、藩主毛利敬親のもとで天保の改革に取り組み、藩政改革に手腕を振るった「村田清風」の業績等について、村田清風記念館館長から話を聞いた。この学習を通して「志を立て実践することの喜び」や、「郷土三隅を愛する心」を育てること、「将来の夢や希望を設計する力」を培うことを目的とした。なお、この取組は、立志式の『誓いの言葉』へと結びつけるための活動である。



立志式

今回で44回という伝統ある行事であり、2年生の生徒たちは緊張した面もちで立志式に臨んでいる。式のクライマックスである『誓いのことば』を3年生(昨年の経験者)、1年生(来年迎える)からの熱い視線を感じながら、各自が手にする、校長が灯した親火から分火したろうソクの明かりの下で、堂々と発表する。また、会場内では、来賓の方々・保護者・地域の方々の熱い眼差しが一人ひとりの生徒を見守り支えていただいている。

将来を見据え、自ら考え人生の指針とする誓いのことばを朗ずることは、今までの自分から一歩前進した自分を感じることでできる瞬間である。本校を卒業した保護者は親子二代に渡りこの感激を得ることができ親子で共有できる心の財産となっている。



昨年度の立志式の誓いのことば

- ・何事にも前向きにチャレンジする。 ・前向きになる。 ・何事にも屈しない心をもつ。
- ・何事にも挑戦する。 ・自分で決めたことは、最後までやりとげる。 ・何があっても笑顔を忘れない。
- ・何事も一步一步確実に行く。 ・何事にも根気強く取り組む。 ・自分に強くなる。
- ・人のために自分のために日々精進する。 ・自分の言動に責任をもつ。 ・責任をもって行動する。
- ・不平不満を言わず、辛抱強くなる。 ・自分らしく、一步一步努力する。 など

成果

「親の背中に学ぶ」で実際に保護者の職場に赴き取材や職場体験を行ったことで、働くことの意義や大変さを理解することができた生徒が多く見られ、親に感謝の気持ちをもちながら、生活を改めていこうとする姿勢も見られた。また、諸活動のまとめとして、感想を立志式の文集として発行したことが、広い視点から志を立て、考えを深めることに通じた。

伝統があり、地域や保護者からの関心も高く、非常に厳粛な雰囲気の中で立志式を挙行することができた。地域からの来賓・保護者そして上級生下級生の見守る中で発表する「誓いのことば」を述べることに生徒は大きな責任を感じているとともに大きな自信を得た。そしてそれをやり遂げた生徒にとって、来年最高学年になる自覚をもつことのできる節目となっている。

課題

伝統ある行事である一方、恒例行事と感じる生徒もおり、「立志」という言葉を身近に感じられず、式に向けての意識が低い生徒もいた。式のねらいや意義や意味づけを生徒にわかりやすく示すための改善をしていきたい。授業時間の確保という意味では課題も残るが、「立志式」の成果は大きいので、何を求めるのかをしっかりと検討し内容を工夫したいと考える。